

2-9

地域とともに発展する施設づくりを目指して

利用者の自立を目指したボランティア活動

養護老人ホーム 万寿園

発表者：支援員 稲村文子 支援員 佐藤由里子	共同研究者：相談員 福原 川嶋 支援員 渡辺
所在地：東京都東村山市富士見町 2-1-3	
TEL：042-391-2578	
FAX：042-392-1733	URL：http://www6.ocn.ne.jp/~sousei2/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	養護老人ホームは、行政の措置によって入居が決定される、いわゆる措置施設です。セーフティネット機能を有する万寿園の支援サービスは、利用者にとって暖かく、優しく、心にしみるものであって、「生きる」ことをしっかりと支えていくことを大切にしています。
----------------------------	---

〈取り組んだ課題〉 - 施設の支援サービスは、施設プログラムの中に利用者様を入れていく、いわば「施設管理」を中心でした。 - いま「利用者本位のサービスの実践」また「尊厳を支えるケア」が求められており、100歳でも生きるための「自立」を、利用者の自立のための支援活動を重視した生活プログラムづくりを始めました。 - 利用者の自立機能を高める方法として「ボランティアサークル」を設置し、施設内の活動から施設外の活動へと徐々に活動の範囲を広げていきました。 〈具体的な取り組み〉 - ボランティアサークルへの参加の呼びかけ。 - ボランティア活動の意義を学ぶ。 - 施設内のボランティア活動を開始する。 園内清掃・エコキャップの収集（ポリオワクチン確保への協力）・納涼大会の会場整理要員・食堂の机、椅子拭き。 - 施設外へボランティア活動を広める。 施設周辺のゴミ拾い・落ち葉拾い・道路の清掃 - 地域の施設（老人ホーム、保育園など）の屋外清掃へ。	〈活動の成果と評価〉 - ボランティア活動の内容によってどなたでも参加でき、それが生活意欲の向上につながった - 利用者様のこれまで園内で見られないような活気、表情がみられ利用者様の自立意識の向上につながった。 - 活動開始前に一体感が生まれ、利用者様の間で仲間意識が芽生え、活動以外にも自主的に集まるようになった。 〈今後の課題〉 - これをきっかけに社会参加、地域貢献を目的とした新しい活動内容を検討し、利用者様の生きがいと喜びにつながる支援を行っていく。 - 今後、利用者様が直接的に地域社会に参加し、地域住民との交流の機会をつくること。 - 利用者様一人ひとりが入所施設において尊厳を持ちながら生活が送れるように活動を続けること。 - 利用者様の生活の質を高めるために寄り添う人を増やすこと。 - 支援員が行事等を企画・運営するのではなく、利用者様が考えて実現するためにどのように援助していくかという職員の意識付けが必要となる。
--	--

【メモ欄】